



潜入レポ!

シリーズ③

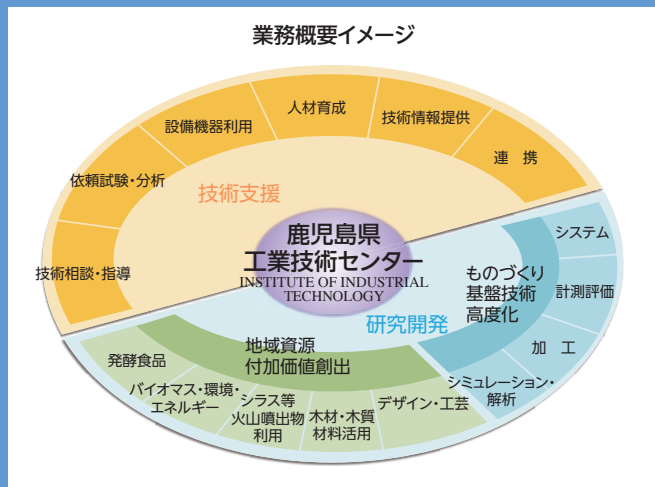
ものづくり技術の拠りどころ!



鹿児島県工業技術センター

Kagoshima Prefectural Institute of Industrial Technology

に行ってきました!



Q 技術支援に関して、今、ホットな設備機器って何ですか?



今年度は新規設備として**3次元プリンター**を導入しました。これは、CADデータなどをもとに横250mm×奥行250mm×高さ200mmまでの立体を造形できる機械です。今年の4月より本格稼働となります。

製品の試作開発品を低コスト且つ短期間で製作できることから、主に製品開発段階にある製造業者にご利用いただくことを目的としています。工芸品や加工治具などを試作する際にご利用ください。

図面データの入力といった利用方法については、常駐する研究員が丁寧に対応します。

ご利用の際は、当センター生産技術部にお問い合わせいただき、研究員と事前に打ち合わせをさせていただくこととなります。どうぞお気軽にお問い合わせください。



県内ではまだまだ導入事例が少ない3次元プリンター



鹿児島県工業技術センター
かりや かずあき
所長 仮屋 一昭 様

当センターでは、工業製品だけでなく、工業デザインや、食品・化学・環境及び繊維工業、木竹材やバイオマスに関する技術支援や研究開発も行っています。県内企業であればどなたでもご利用できますので、まずはお気軽にご相談ください。

Q 研究開発に関して、動いているプロジェクトを一つ教えてください



当センターは、戦後間もない時期からシラスの工業活用研究に取り組んでおり、現在は**シラスの全量利用**を目指して**研究開発**を行っています。

南九州でシラス台地を形成する火山噴出物のシラスは、工業資源として製品化できれば、県に計り知れない恩恵をもたらす可能性を秘めた資源です。

シラスは大きく3種の鉱物(軽石/砂/火山ガラス)により組成されていますが、最も含有量の高い火山ガラス(含有率46%)だけは、JIS(日本産業規格)の適合を未だ受けておらず、その利用が進んでいませんでした。

しかし、長年にわたる研究の結果、JISに適合する技術開発に成功し、今年の4月にコンクリート用の混和材として、新たにJIS規格化されることになりました。今回のJIS規格化はブレイクスルーとなることから、県民の悲願であるシラスの有効利用の実現のため、シラス製品の産業化に向けた取り組みが加速することを期待しています。



研究の成果が詰まった製造プラントの一部



☎/0995-43-5111
HP/<https://www.kagoshima-it.go.jp>
住所/霧島市隼人町小田1445-1